



静かな森の夜。

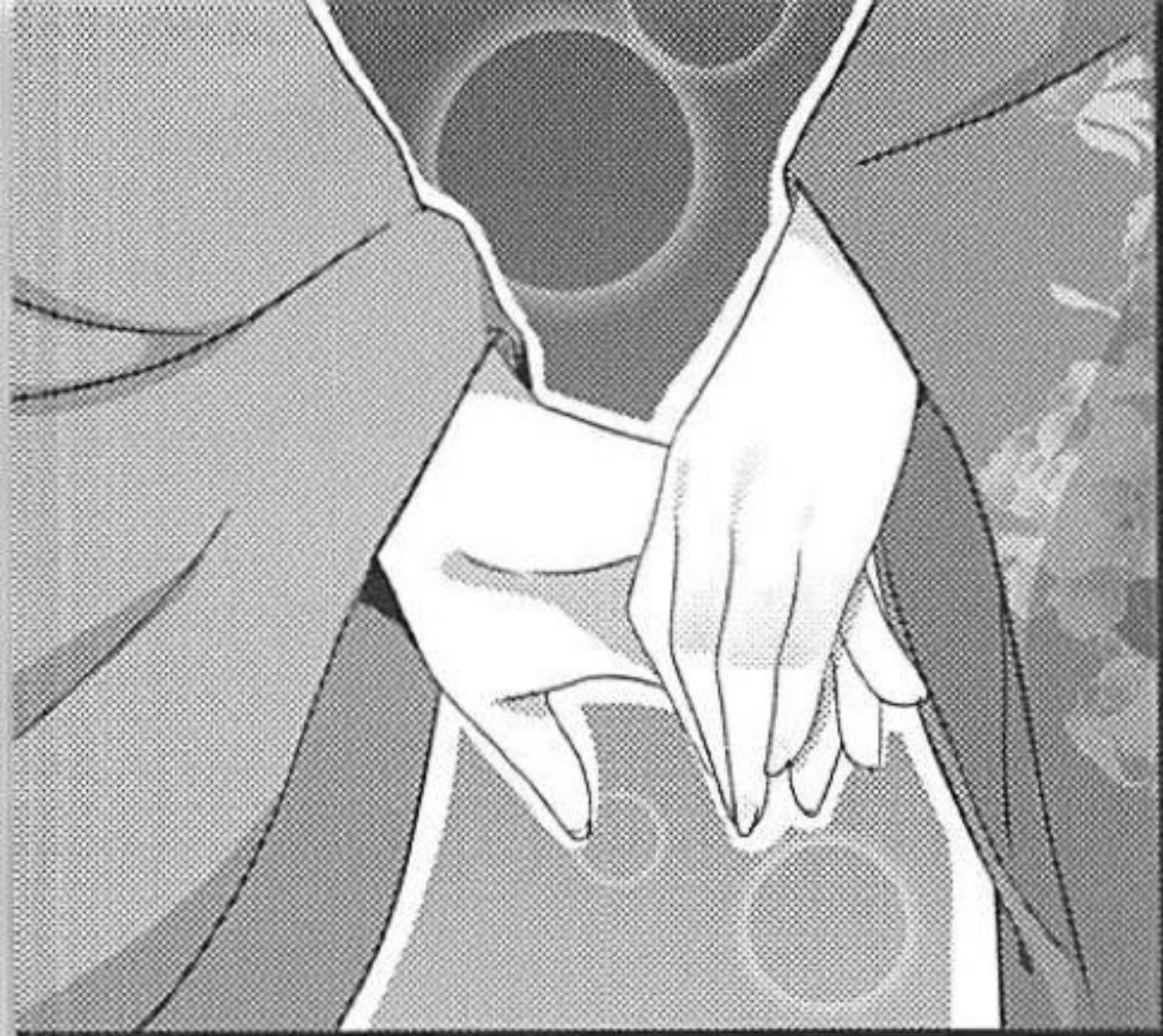
お互い素直に向き合って
からしばらく時間が経った
時間さえあれば、
よくエリリと恵を
黙ってこっそりと
デートしている。

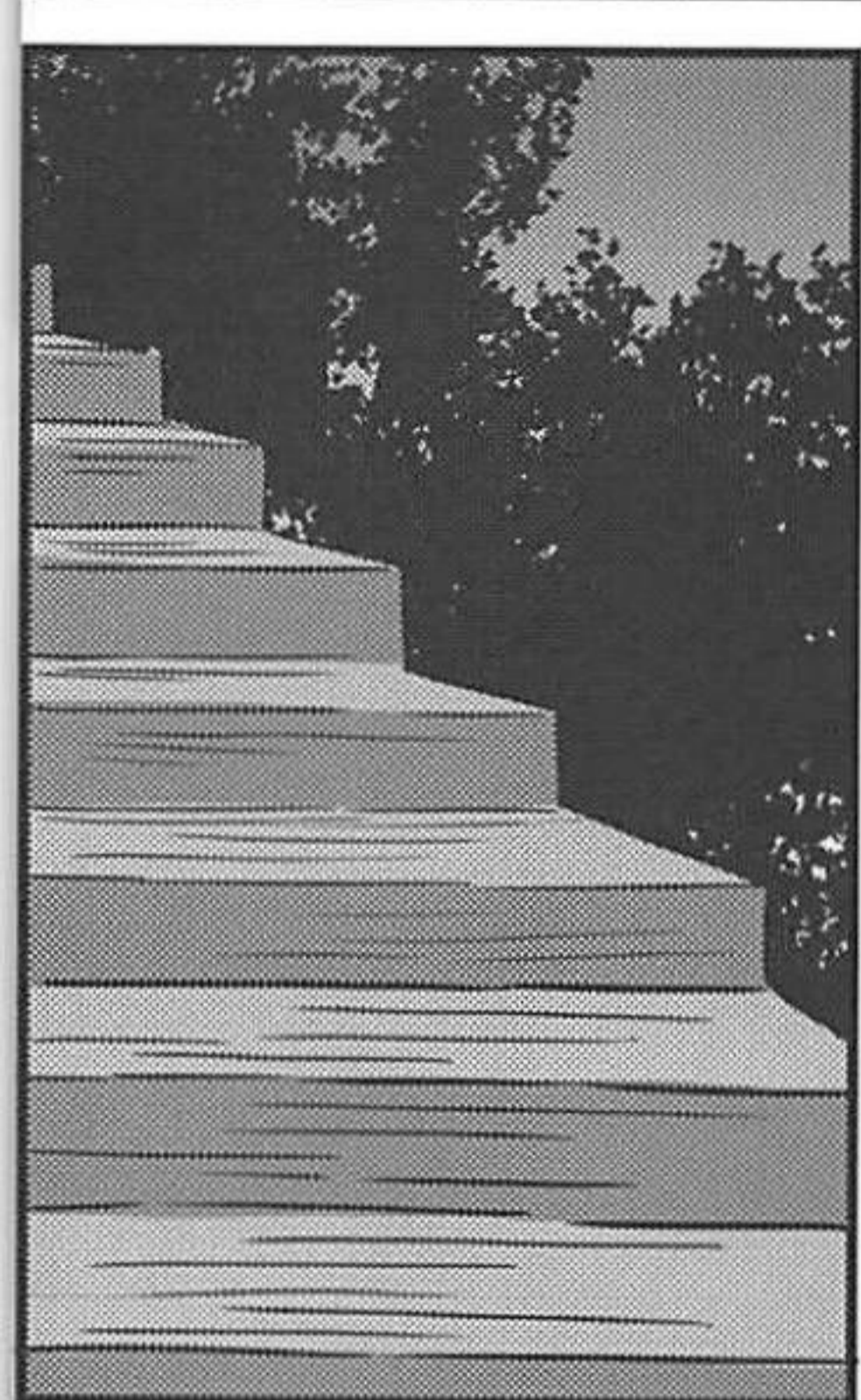
似合ってる？♡

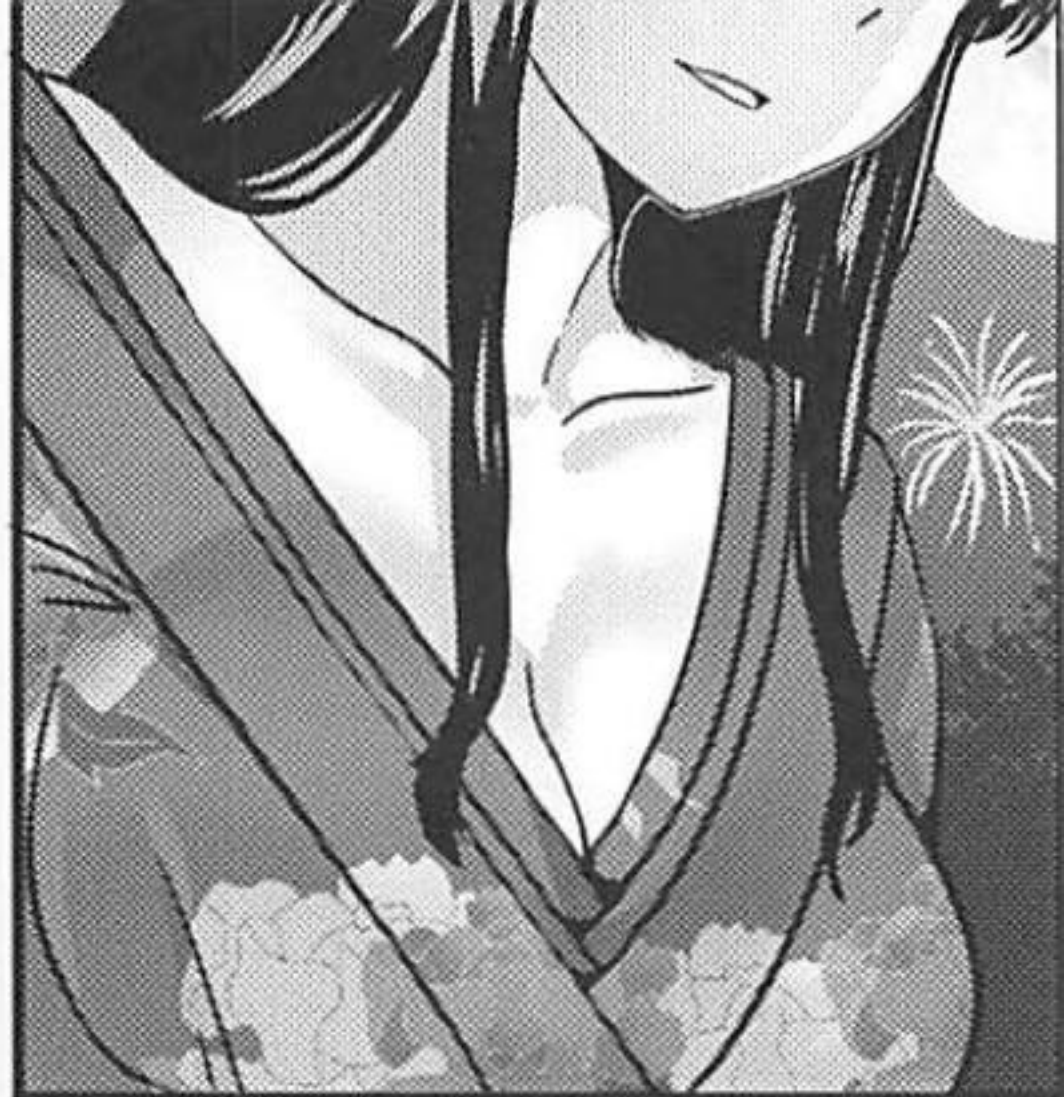
!!

お待たせ、倫理くん

どう？







先輩?!



さつきから
気づいたけど



ねえ… 倫理くん
キスくらい
いいよね?



ここは誰もいないよね



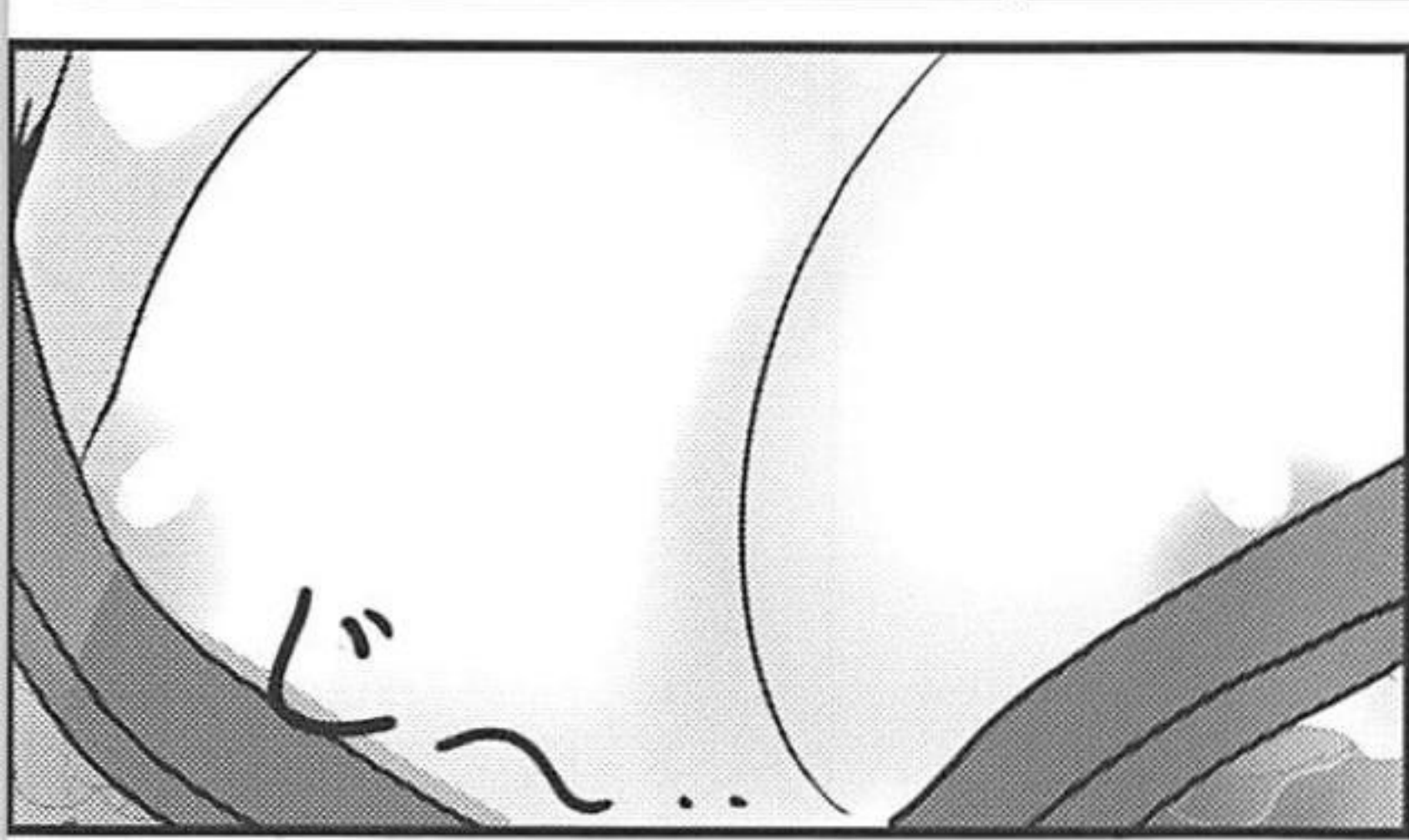
うん



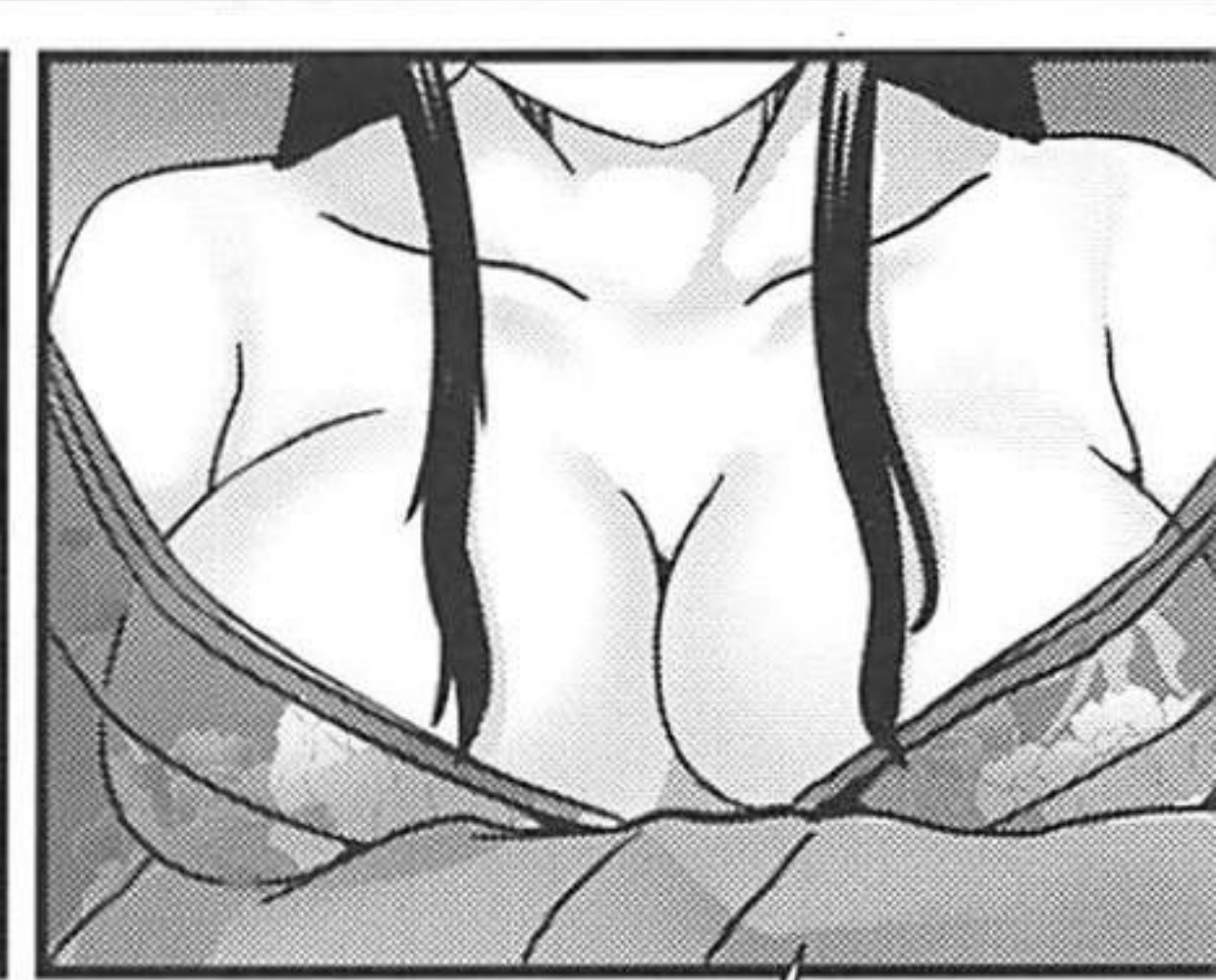
温かい



うん...



じゅっ...



バカ!!!

いきなり何をつつ!!!



?

.....



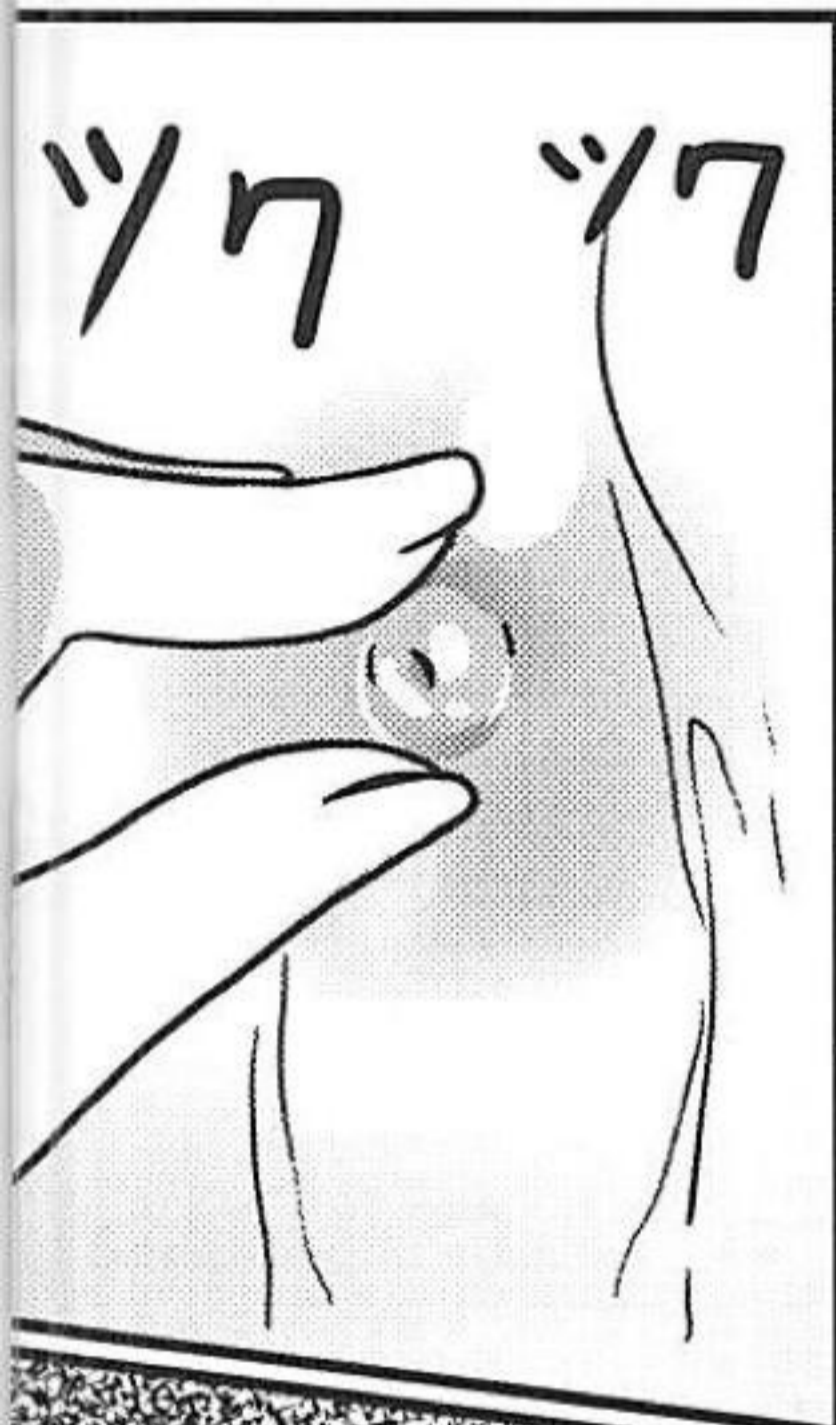
何を
する
気だ!
バカ
倫理

何を...



見られ
ちゃつた
マズイ

先輩!!
大声を
出しすぎだ!



ツク
ツク



やはり
下着は
着て
ないな



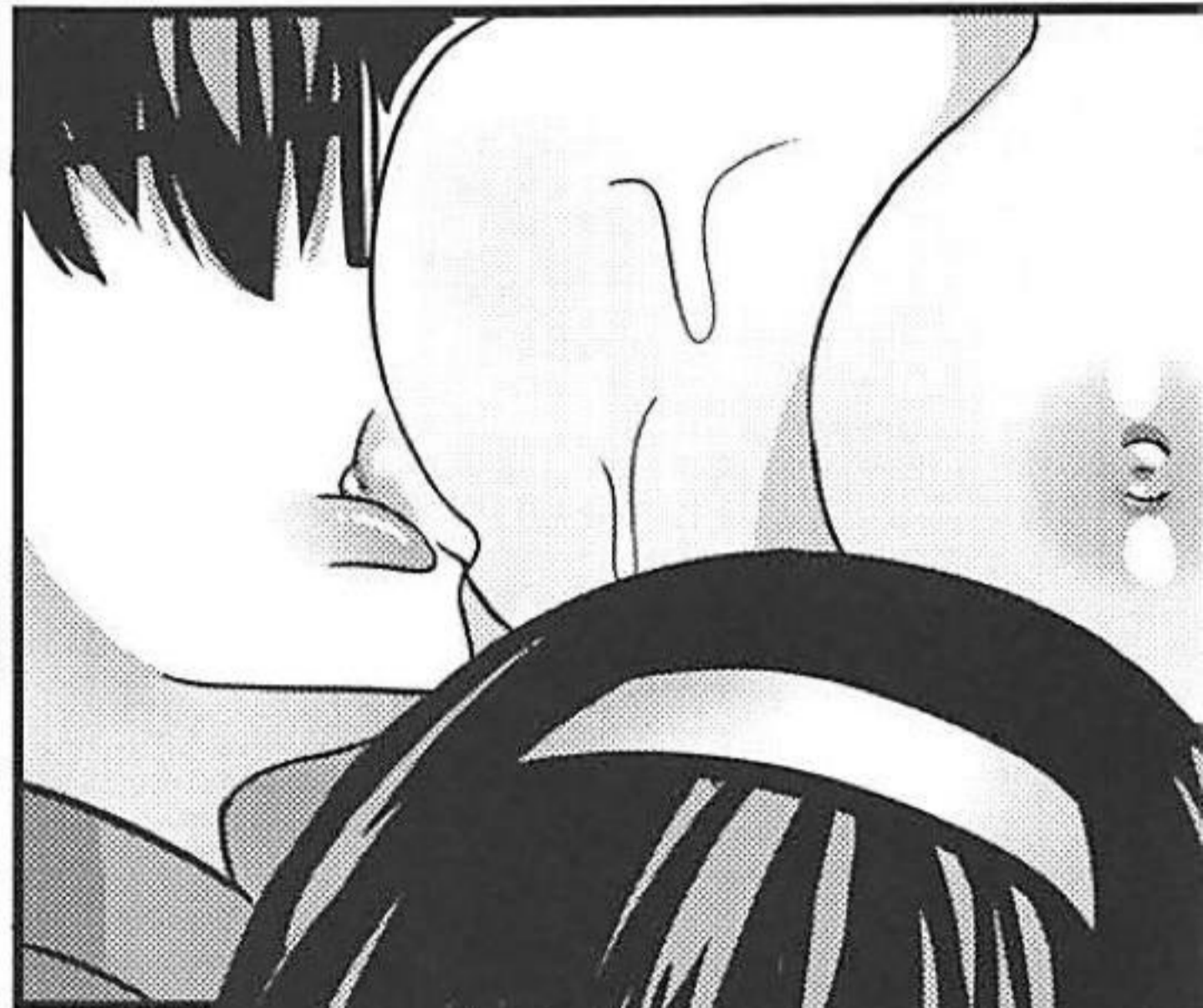
さつき
から
思っ
たけど...



バカ!
やめ
ないか

キス
した
せいで...
先輩
の乳首
もう
立っ
てる
んじ
ゃん

んー♡



やめないと...
私は...

ふ...
65...

詩羽先輩：
分かってる

先輩もキツト…

やっぱりビシヨビシヨだ♡

バカ倫理君！
さつさと終わらせて
花火を見に行くため

それだけ！

肌すべすべ



もう
こんな固くなったなんて

消ませないと
花火が見れないよね



先輩……
すごい

どう？倫理くん

熱い！
気持ちいい！

倫理くんはずっと
私のおっぱいを見てるよね♡

倫理くんは本当
におっぱい好きね

おちんちん
もビクビクしてる

バイスリって
気持ちいい？

うん！
おっぱいだけじゃなく

ニャ
ちゅ♡

先輩のすべてが好きだ！

こんなの犯則だよ！
詩羽先輩

はっ♡

こうしたら
どう？

どんだん
興奮してきたよね

私知ってるよ
倫理くんの弱点♡

ぐほっ



ヒューヒュー



どこんなつよい
なんつて
先輩!!!!!!
ダメ?

もう...



クキユ
あん...クキユ

おちんちんはさらに
べたべたになったね

おっばいでやるのは
初めてだな



私のおっばいはこんなに
気持ちいいの?

こんなに出ししてるのに
まだ元気だね



口もぬるぬるだ



ドキ ドキ



し～

っ大声出すな

まだ終わってない

ここからは本番だよ

もうそこまでやったのに

倫理くん
は続かないの？

はあ♡ 柔らかい
舌 溶けちゃう

もっと私に見させて
倫理くん

そして先輩の体
良い香りがする

私達が一緒にいるなんて
何だか夢みたい

まだまだ足りん

入るぞ
詩羽先輩

ちゅぽ

おまんこにどンドン
吸い込まれる

体が制御できない

倫理くん
もっと…
もっとちようだい

先輩 おまんこ気持ちいい
気持ちよすぎて
おちんちんとけそう





奥までに
気持ちいい

ブチ

おのるるる



奥
すっごい
すっごい



ああ
♡

啊
♡

倫理くん 激しい
声 もう抑えられない

僕のおちんちんは完全に
子宮に吸い込まれちゃった

詩羽先輩
中が キツイ



う あああ
中が熱い

すごいものが来た
ああいくいく
いく♡

いく!!

出る

あ♡



倫理くんとこんなところで
セックスするなんて
しかもいちやった

ん♡♡

先輩のマンコに
私の精子がいつぱい

うう

うう

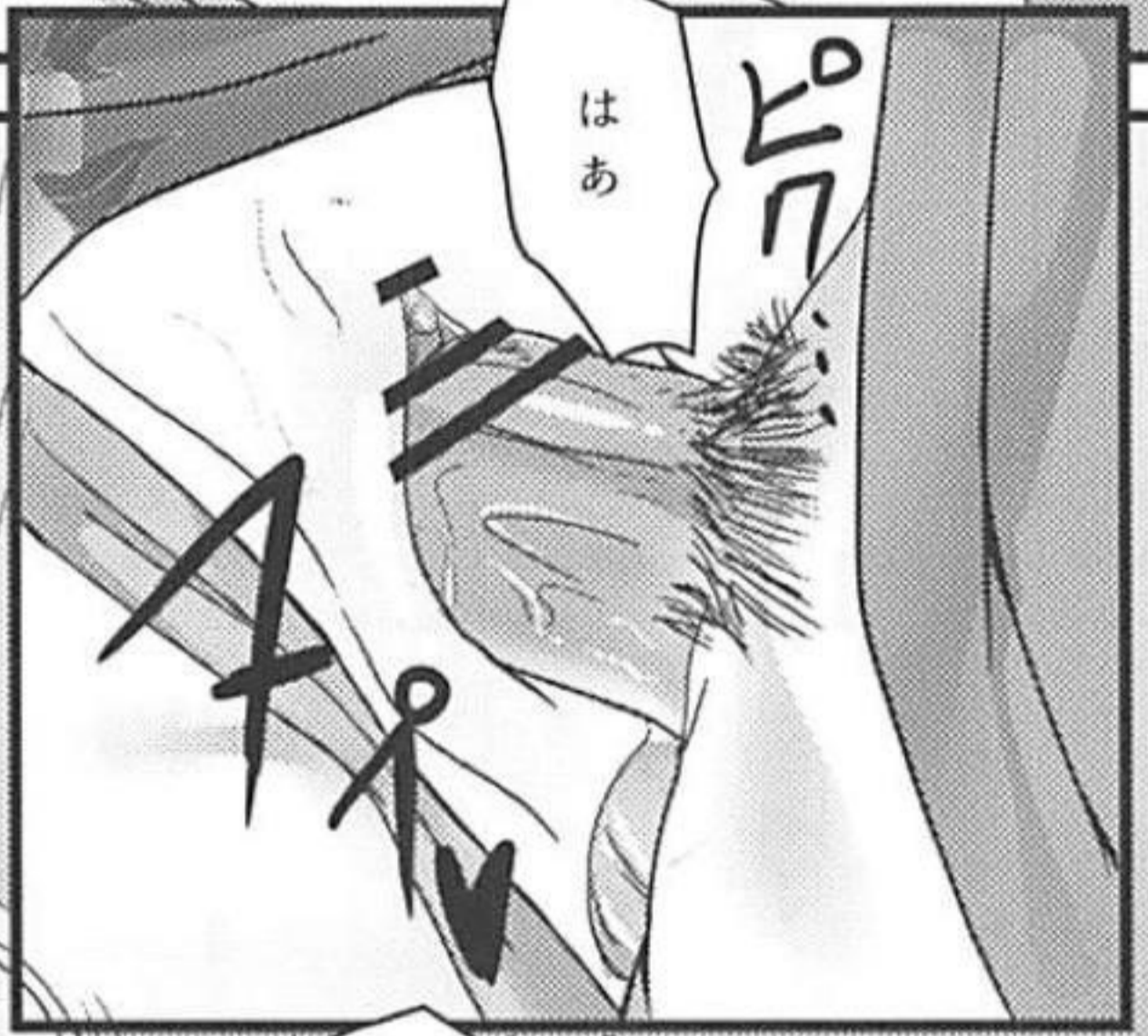


おちんちんはまだ
石みたいカタいわ

この外に感じた刺激感
ドキドキするわ



また入って来る



はあ
はあ

倫理くんのバカ
もうとつくにあなたのものよ
私のすべて

先輩の発情マンコを
無茶苦茶二してやる
完全に私のも専用のになる

先輩はエロすぎ
私はもう止まらない

はあ
あちゃん
イル

まわりついでくる

ずっちり

たんっ

精液と先輩の愛液

を混ぜって

いつもより多いぞ

倫理くん

すごいわ

おちんちんしか

考えられない

はあ

はあ

全部倫理くんのせいだよ
マスマス敏感になってしまう
このままじゃダメなのに

はあ！

気持ちイイ
チンチンが
何も考えられない

ああ♡

うん♡

はあ

ああ…

先輩のおマンコすごく
気持ちいい
ぎゅうっと絡み合ってる

キュッ

ドクッ

聞きたい

先輩の可愛い
声びを聞きたいな

先輩 大好き

何度も倫理くんにさされた
私一番気持ちいいところ♡

もうすぐ出る
詩羽先輩

がちゃっ

がちゃっ

グッ

出る!!
グッ
グッ
グッ

あはっ

まゆううう

いく♡
私もいく♡

はあああああ♡

全身が染まる
倫理くんの匂い

ズ
グ
ユ
ッ
ッ

あ 感じた
は あ ああ
感じた

熱い精液が
おマンコに
全部出しちゃう

あ
あ
あ

あ
あ
あ

いつもより深いところに
絶対妊娠しちゃう
倫理くんの赤ちゃん

ばあ

頭が真っ白になった
なにも考えられない

まだ
まだ湧いてくる

だって
先輩エロしすぎるから

ズ
ッ
ッ
ッ



私の精液が

先輩のまんこから
溢れだされちやう

いっぱい

カク

カク

どろま



倫理くんと恋人
になって良かった

ちゃんと
責任を取るわよ

はあ

これから
毎日先輩とエッチしたい
そしていっぱい
赤ちゃんを産むわ

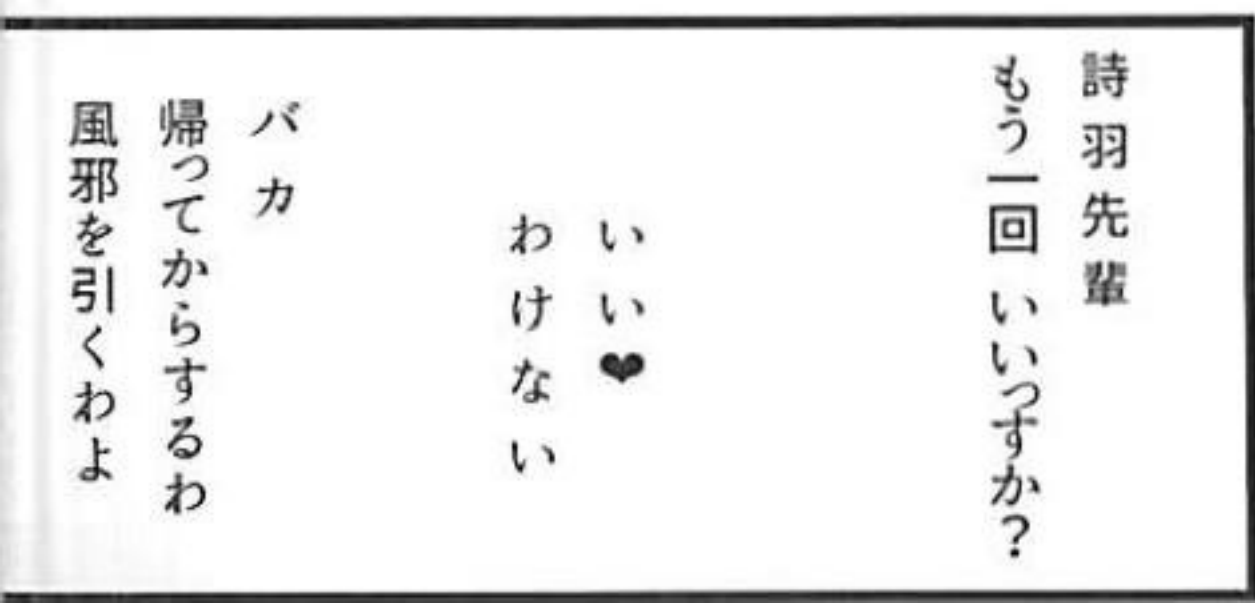
あ

あ

倫理くん

好きだ

ずっと愛してる



詩羽先輩

もう一回いいですか？

いい
わけない

バカ

帰ってからするわ
風邪を引くわよ



結局 花火は
見られなかったわね

そうね

全部

倫理くんのせいだ

仕方がない
帰ろうか

あとがき:

お疲れ様でした、ハヤテです
皆様、お買い上げありがとうございます。

今回は詩羽先輩をヒロインにするエピソードです
和服姿を見た瞬間で、ずっと描きたかったです！
前話がないプレイを描き出して、とっても嬉しいです。

今年も頑張りますー！
もし機会があれば第三本を描きたいと思います
お楽しみに～



奥付

■ 誌名

静かな森の夜

■ 執筆

ハヤテ

■ 発行

2017.7.31発行

■ 電子メール

dajdajdas@gmail.com

■ 印刷

栄光印刷

■ Pixiv

4458690

DO
R
成人
18歳
購入・

静かな森の
夜。

